

**令和5年第1回 岩沼市議会定例会
一般質問(個人)通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
3	4	高 梨 明 美	<p>第2次岩沼市健康づくり市民計画について</p> <p>1. 平成26年度から令和5年度の10年間を計画期間とした第2次岩沼市健康づくり市民計画は、これまで健康意識調査や中間評価を実施し、それを踏まえた見直しを行いながら計画を進めてきたと思われる。来年度は計画の最終年度になるが、これまでの取組について伺う。</p> <p>(1) 中学生を対象とした取組の強化について</p> <p>① ライフステージ別の進捗状況を見ると、「子どもの健康づくり」では、特に中学生の自己管理についての評価結果が悪いので、現在の取組内容について見直しを行い、新たな取組を行っていくことが必要だと思われる。思春期にある中学生へのアプローチは、デリケートな部分もあるため、効果を上げている事例等の収集や学校などの現場の声を幅広く拾っていくことが必要と思うが、施策強化に向け、取り組んできたことを伺う。</p> <p>② 中学生を対象としたピロリ菌検査の導入をしてはどうか伺う。</p> <p>③ 中学生を対象としたがん教育の取組を伺う。</p> <p>④ ピロリ菌検査を行うことにより、がんへの意識が高まり、がんに対する教育を深めるきっかけになると考えるが、このことについて教育長の見解を伺う。</p> <p>(2) 運動を促進させる取組の強化について</p> <p>① 運動に参加しやすい機会・環境の整備を進める中で、健康づくりに結びつくような仕掛けも必要だと思われるが、どのような取組をしてきたか伺う。</p> <p>② 運動促進のきっかけづくりのための健康ポイント事業について</p> <p>ア 健康ポイント事業について見解を伺う。</p> <p>イ 健康ポイント事業を導入してはどうか伺う。</p> <p>(3) 新たな健康づくり市民計画について</p> <p>① 本計画期間は、平成26年度から令和5年度までの10年間となっている。今年度は健康意識調</p>	市 長 教育長

(続)	4	高 梨 明 美	<p>査を行う計画になっているが、どのような調査を行ったのか伺う。</p> <p>② 健康意識調査の結果を受け、新年度はどのように進めていくのか伺う。</p>	市 長 教育長
			<p>障害者支援について</p> <p>1. 「あいサポート運動」について 障害のある方が困っていることなどを理解して、手助けや、配慮を実践する「あいサポート運動」が、平成21年11月から鳥取県でスタートした。今、この運動が、全国の自治体、企業、団体に広がりを見せており、令和4年12月末現在で9県16市6町で実施されている。障害者と共に生きる地域共生社会を目指すために、本市でもこの運動を取り入れるべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>2. デジタル障害者手帳の導入について 従来の紙様式の障害者手帳は、破損や紛失、また、個人情報を見られてしまう心理的な負担の声があり、これに代わるものとして、デジタル障害者手帳を導入する自治体が増えている。スマートフォンアプリの活用により、公共交通機関など、各種サービスの利用料の減免や、障害の種別に応じた情報が入手できるなど、利点も多い。 本市としても、障害者のニーズや合理的配慮の観点から導入を検討してはどうか伺う。</p>	市 長
4	5	田 村 宏	<p>健康保険医の在り方について</p> <p>過日私は、医療過誤の噂が多々あった地元の医院をホームドクターとして、常日頃より利用していました。</p> <p>私事ではありますが、私の妻が1年程前から激やせして、その医院に検査を依頼し通院いたしました。その医院では、何も異常個所が判明しないということで、そのため大きい病院に紹介状を書いてほしいと依頼しました。そうしましたところ、総合南東北病院に人間ドックの予約を入れてあげるとの回答でした。</p> <p>妻は、南東北病院は嫌だと申しますので、何故だと聞くと、西の方角だけはダメだと言われ、その病院を拒絶していました。</p> <p>私は、その医師が何故南東北病院にだけ固執するのか、癒着しているとしか思われません。医師として資格の下、個人情報保護条例に抵触することなく、どこの病院にも自分の調べた結果を添えて紹介するのが、医師の務めであり義務だと思います。</p>	市 長

(続)	5	田村 宏	<p>然るに、患者の希望する病院への紹介状を拒絶する事は、医師法に違背するものと思います。このような医師は、保険医指定を取り消して頂きたいと思慮いたしますので、市のそれに対する考え方と姿勢をお伺いしたい。そして市の行うべき指導・監督・対処をお聞かせ願いたい。</p> <p>また、私個人として取れる法的処置も併せて指導して頂きたい。</p> <p>以上の経緯については、後に述べることといたします。</p> <p>現在妻は、東北医科薬科大学病院に入院中であり、すい臓がんの疑いで検査治療中であります。甚だ残念な結果であります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康保険医と市の監督管理の関係について 2. 監督管理が及ばない時の通報体制について 3. 医師に対する苦情への対応について 	市長
5	1 1	渡辺 ふさ子	<p>公共施設のソーラーパネル設置について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、ソーラーパネルが設置されている市役所庁舎や市民会館など、市内の9か所の公共施設について <ol style="list-style-type: none"> (1) 年間発電量の合計を伺う。 (2) 電気料金に換算した合計金額を伺う。 (3) 売電収入を伺う。 2. 温室効果ガス削減に向けたゼロカーボンシティの実現を目指す具体策の一つとして、新たにソーラーパネルを設置する方針や計画はあるのか伺う。 3. 民間事業者が他者の屋根や敷地を借りて無償で太陽光発電設備を設置、維持管理し、電気を供給する「屋根貸し発電」を利用して、新たに公共施設のソーラーパネル設置を進めてはどうか。 4. 設置済みの施設に追加のソーラーパネル設置を進めてはどうか。 	市長
			<p>暮らしと営業を守る施策について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いわぬま地元応援割増商品券の事業が終了したが、新型コロナ禍の下、スナック・居酒屋など夜の街への客足はなかなか戻らず、更に物価高騰が追い打ちをかけている。運送事業者への支援金だけでなく、飲食業者にも再び事業復活支援金等の直接支援の実施を求める切実な声が寄せられているが、検討すべきではないか。 2. 消費税のインボイス制度について 	市長

(続)	1 1	渡 辺 ふさ子	<p>(1) 今年10月から実施予定の消費税のインボイス制度は、地方自治体の特別会計や公営企業会計にも申告義務が発生する。免税事業者が取引から排除されたり、契約額から消費税相当分が値引きされるといった問題が指摘されているが、どのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) インボイス制度は、高齢者が働くシルバー人材センターの会員も課税業者になる必要がある。全国で約70万人の高齢者が働いており、月平均の収入は35,834円で、高齢者個人がインボイスを発行しなければ、シルバー人材センターが消費税の仕入れ額控除ができず、多額の納税負担が発生する。</p> <p>また、学校給食の食材を納入する地元の農家や肉屋や豆腐屋などの免税業者の生産者・小売業者が締め出されることも懸念される。新型コロナ禍・物価高騰の折に困難を招くインボイス制度は、延期・中止を国に求めるべきではないか。</p> <p>3. 会計年度任用職員について</p> <p>(1) 継続を希望する会計年度任用職員について一律の公募を辞め、希望者が安心して働くことができるようにすべきではないか。</p> <p>(2) フルタイム・パートタイムいずれの会計年度任用職員についても、常勤職員と同様の法体系にし、勤勉手当も含め、給与・手当等を支給すべきではないか。</p>	市 長
			<p><u>岩沼市総合評価方式制限付き一般競争入札落札者決定基準について</u></p> <p>1. ISOマネジメントシステム等の取組状況について</p> <p>(1) ISO9001を取得している市内企業数を伺う。</p> <p>(2) ISO14001、エコアクション21又はみちのくEMSを取得している市内企業数を伺う。</p> <p>(3) (1)と(2)ともに取得している市内企業数を伺う。</p> <p>(4) ISOマネジメントシステム等を決定基準にしているのはなぜか。</p> <p>(5) ISOマネジメントシステム等を決定基準から外してはどうか。</p> <p>2. 通常時における地域貢献について</p> <p>(1) 過去1年間に、単体又は加盟する団体において、半日以上が無償ボランティア参加実績とあるが、単体での無償ボランティア参加実績はどのくらい</p>	市 長

(続)	1 1	渡 辺 ふさ子	<p>あるのか。</p> <p>(2) 単体での無償ボランティア参加をしやすい工夫が必要ではないか。</p> <p>3. 雇用における地域貢献について、従業員における岩沼市消防団員の雇用となっているが、消防団員は自由意志で加入するものであり、従業員への強制とならないよう、決定基準から外してはどうか。</p>	市 長
6	3	大 村 晃 一	<p>行政の様々な改革について</p> <p>1. 政策部の新設について</p> <p>令和5年度から、迅速な意思決定と、より戦略的な政策成果の達成を図るため、秘書、シティプロモーション、行政改革、デジタル化、企画、広報、地方創生等の業務を担うために、組織改編で新設される予定の政策部に関連した内容について伺う。</p> <p>(1) 行政改革について</p> <p>① 令和4年10月1日付けで設置された行政改革推進室内に設けられている行政改革推進係は、設置以降、どのようなことを行ってきたのか伺う。</p> <p>② 政策部内で業務を引き継いでいくと思うが、今後は、どのような行政改革に取り組んでいこうと考えているのか伺う。</p> <p>(2) シティプロモーションについて</p> <p>① 行政改革推進室内に設けられているシティプロモーション係は、設置以降、どのようなことを行ってきたのかを伺う。</p> <p>② 今定例会初日の施政方針では、シティプロモーション元年と位置づけ、情報発信の強化に取り組んでいくとしているが、今後は、どのようなことを行っていく予定なのか伺う。</p> <p>③ シティプロモーションに力を入れて取り組んで行く上で、プロモーションについては外部人材を起用することも検討する余地があるのではないか伺う。</p> <p>(3) 企画・広報について</p> <p>① 学生などの若者の参画について</p> <p>ア 学生などの若い世代のアイデアや情報発信は行政としても魅力の一つであり、各自治体とも年々学生を巻き込んだ取組が増えてきている。そこで、本市がこれまで、情報発信等の分野で学生など若者のアイデアを活かした</p>	市 長

<p>(続)</p>	<p>3</p>	<p>大 村 晃 一</p>	<p>取組を、どの程度行ってきたのか現状を伺う。</p> <p>イ 今後の取組を伺う。</p> <p>ウ 企画や広報、情報発信において、学生などの若者の意見を取り入れやすい行政となるように、政策部内に連携をするための部署・係を設けてはどうか伺う。</p> <p>(4) デジタル化について</p> <p>① LINEの活用について</p> <p>ア 現状は情報発信をメインに活用しているが、更なる情報発信を進める上で、今後どのように活用していくのか伺う。</p> <p>イ LINEには、書類申請や各種手続を行う仕組みもあり、活用している自治体もあるが、本市ではどのように考えているのかを伺う。</p> <p>② 岩沼市デジタル化推進計画について</p> <p>ア 令和3年9月に策定され、行政内部事務効率化として示された市役所のデジタル化推進の工程表では、令和3年度から令和5年度まで、無線LAN導入やコミュニケーションのデジタル化導入となっているが、現状を伺う。</p> <p>イ 令和6年度から、デジタル業務の定着化推進時期となることや、今後も想定される疫病や大規模災害時の業務対応に備える上でも、この組織改編を機会にグループウェアを取り入れる整備を検討してはどうか伺う。</p> <p>③ 行政のデジタル化推進のために、外部人材として尽力いただいているデジタル化推進室の現室長の契約は、今年度で終了の予定である。本市の現状を見ると、引き続き知識の長けた外部人材の起用が必要と考えるが、どのように考えているのか伺う。</p> <p>④ 総務省が市町村のデジタル化を後押しするため、令和5年度から創設する地方公共団体のデジタル人材の確保や育成に係る地方財政措置制度を活用して、本市のデジタル化を推進させてはどうか伺う。</p> <p>2. 市役所庁舎内及び敷地内の利活用改革について</p> <p>(1) 旧食堂室について</p> <p>① 食堂としての利用が終わった後の、現在の活用状況を伺う。</p> <p>② 市内の団体や市民が集まるマルシェや物販な</p>	<p>市 長</p>
------------	----------	----------------	--	------------

(続)	3	大村晃一	<p>どのイベント活用や、チャレンジショップ等、市民が何かしら利活用できる場所として利用してはどうか伺う。</p> <p>(2) 市役所来庁者駐車場は、いわぬま市民夏まつりなどでは場所を開放して開催をしているが、どのような基準で開放しているのか伺う。</p> <p>(3) 市役所庁舎内や敷地内には、市民が利活用できる場所があると考え。しかし、現在は貸出しができるルールが存在しない。条例などを策定し、ルールを設けて、市役所は手続や申請だけではなく、人が集う場所にもなるよう改革を行ってはどうか伺う。</p>	市長
7	13	佐藤一郎	<p>空港運用時間延長に伴う要望事項の進捗状況について</p> <p>1. 矢野目西地区開発の進捗状況について</p> <p>(1) 造成工事した矢野目西地区土地区画整理事業については、2区画が残っているが、売却に向けての進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 南側の未整備地51.5haの造成工事について、今後どのように考えていくのか伺う。</p> <p>2. 県道岩沼蔵王線を延伸し、県道塩釜亘理線へ接続することに関しての要望について、進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 県に対して、今までどのような交渉を行ってきたのか伺う。</p> <p>(2) 東部地区の避難道路としての活用、交通状況緩和として延伸は重要な事項であると考え、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 県道岩沼蔵王線を延伸し、県道塩釜亘理線へ接続するには、名取市域内を通ることから名取市との連携が必要となる。市長の見解を伺う。</p> <p>3. 仙台空港アクセス線の延伸について</p> <p>(1) 仙台空港アクセス線の延伸は、県と岩沼市との覚書により継続して要望している事項である。昨年までの進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 今後、延伸について県、関係機関とどのように協議していくのか伺う。</p> <p>4. 仙台空港フロンティアパーク地内に整備する賑わい創出拠点の進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 賑わい創出の施設として、検討委員会でどのような意見があったのか伺う。</p> <p>(2) 地域活性化のための民設民営施設とあるが、進捗状況を伺う。</p>	市長

(続)	13	佐藤 一郎	<p>住みたいまちの宅地造成について</p> <p>1. 「住みたいまち・行ってみたいまち岩沼」として、宅地造成について伺う。</p> <p>(1) 施政方針では「三軒茶屋中央地区及び東地区における道路、上下水道のインフラ整備」とあるが、工事概要を伺う。</p> <p>(2) 人口減少はコロナ禍や社会環境変化に伴い一段と進んでいる。「住みたいまち」づくりのためには、宅地造成が必要であると思う。新総合計画に大規模な土地利用計画を盛り込むべきと考えるが、見解を伺う。</p>	市長
8	1	田村 和也	<p>岩沼市民バス運行計画（令和4年11月制定）について</p> <p>1. 公共交通の現状について</p> <p>(1) 市民バスについて</p> <p>① 年間の利用者数は集計されているものの、その内訳（性別・年代等）も可能な限り把握すべきと思うが、見解を伺う。</p> <p>② これまでの自家用有償運行から道路運送法4条許可への変更の経緯と、そのメリット・デメリット・課題等を伺う。</p> <p>③ 現在のバス停数、そのうち屋根付き、ベンチ設置箇所はどれくらいあるか。また、今後増やす計画はあるか伺う。</p> <p>(2) デマンドタクシーについて</p> <p>① 導入の経緯と視察等の検討過程、最終的に現運行体制になった理由を伺う。</p> <p>② 予約配車はどのように行われているか伺う。</p> <p>③ 今後、運行区域の拡大や増便に対応するには、予約配車システムの導入による一元管理が必要かと思うが、見解を伺う。</p> <p>④ 運行委託費の状況と、その積算根拠を伺う。</p> <p>⑤ 市民の認知度が低く、利用促進が図られていないようであるが、どのような対策をするのか伺う。</p> <p>2. 改善方針について</p> <p>(1) AIバスについて</p> <p>① 導入の経緯と視察等の検討過程、最終的に現運行案になった理由を伺う。</p> <p>② 本格運行のシステム関係費、運行委託費と積算根拠を伺う。</p> <p>③ デマンドタクシーとの違いは何か、どのよう</p>	市長

(続)	1	田村和也	<p>な優位性があるか、見解を伺う。</p> <p>④ 中心市街地はA Iバス、郊外はデマンドタクシーとする根拠は何か伺う。</p>	市長
			<p>新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>1. ワクチン接種状況について</p> <p>(1) 接種率について</p> <p>① 本市ホームページ掲載の、1月31日時点接種実績によれば、12歳以上各年代の1回目・2回目接種率と、3回目以降のオミクロン接種率には開きがあり、市民のワクチン離れが起きているようにも思われる。この数値の要因について見解を伺う。</p> <p>② 同じく小児5歳から11歳の接種率では、同時期の全国平均（1回目23.9%、2回目22.9%、3回目8.3%）との比較において、5ないし10ポイント高くなっている。この数値の要因について見解を伺う。</p> <p>③ 1月31日時点の生後6か月から4歳までの接種率の全国平均は、1回目3.2%、2回目2.3%との報道があるが、本市の状況を伺う。</p> <p>④ 子どもへのワクチン接種とワクチン後遺症を考える超党派議員連盟が、昨年9月21日に内閣官房長官と厚生労働大臣に手交した提言書では、5～11歳への努力義務・接種勧奨の撤回と、生後6か月～4歳への接種見送りが叫ばれている。本市としても、一度立ち止まって検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤ 厚生労働省の人口動態統計速報によれば、過去2年の全国死者数に比べ、2022年の死亡数の増加が著しく、特に2月～3月及び8月～10月に急増している。同時期の本市における死亡者数と、前年度の同時期の死亡者数及び増加割合（超過死亡数）を伺う。</p> <p>(2) 副反応・後遺症について</p> <p>① 本市のワクチン接種会場における、副反応事例の有無及び態様について伺う。</p> <p>② 予防接種法に基づく予防接種後健康被害救済制度の相談件数及び申請件数と、その結果と態様について伺う。</p> <p>③ 救済申請の結果に関わらず、申請者に対して本市独自の救済策を検討すべきと考えるが、そ</p>	市長

(続)	1	田村和也	<p>の見解を伺う。</p> <p>④ 市民への救済制度の周知は十分と言えるのか、積極的な情報発信は行われているか伺う。</p> <p>(3) 今後の予定について</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症が、2類相当から5類に変更された場合の対応について伺う。</p> <p>② ワクチン接種の予約申込みが少なくなっている状況で、この先も体育センターを使用し続けるのか伺う。</p> <p>2. マスク着用について</p> <p>(1) 政府指針について</p> <p>① 来月3月13日から、マスク着用の新たな指針として、屋内外を問わず個人の判断となるが、市長としては積極的にマスクを外すのか、着用を推奨するのか見解を伺う。</p>	市長
9	9	布田恵美	<p>ハナトピア岩沼利活用基本構想(素案)について</p> <p>1. 先の議員全員協議会において、ハナトピア岩沼利活用基本構想(素案)が示された。用地取得も進んでいることから、いよいよ具体的にリニューアルへ向けて動き出していると感じている。</p> <p>(1) 農村環境改善センターについて</p> <p>① 「統廃合に向けての検討を進めることとなった」とあるが、最終的な統廃合時期は、ハナトピア岩沼のリニューアルオープンと同時期との認識でよいのか。</p> <p>② 現在の利用者を見ると、加工室での味噌、りんごジュース、豆腐作りに多くの参加者がある。今後、統合後もこれらの事業をハナトピアで継続していくのか伺う。</p> <p>③ 以前、米粉製粉機設置に係る予算を確保するも、見合わせたことがあった。食の安心、米の消費拡大、地産地消推進の点からも、ハナトピア岩沼内に描いている加工室に米粉製粉機の設置を考えてはどうか。</p> <p>(2) コンセプトについて</p> <p>素案によると「子どもの笑顔あふれるアグリステーション」と打ち出されている。整備方針1には「食育・木育・花育」を通して子どもの豊かな心を育む拠点づくり、とある。子育て支援、次世代育成支援の点からも好ましいと考える。</p> <p>① 食育活動の考え方や具体的な取組として、どの</p>	市長 教育長

(続)	9	布田 恵美	<p>ようなことを描いているのか。</p> <p>② 木育活動の考え方や具体的な取組として、どのようなことを描いているのか。</p> <p>③ 花育活動の考え方や具体的な取組として、どのようなことを描いているのか。</p> <p>④ 検討委員会で先進事例を学ぶため、視察調査を行った施設や自治体などはあるのか。</p> <p>⑤ 遊びや学びを通して、農林業を身近に体験できる場を作り、地域産業や自然への愛着を醸成する場を創出します、とあるが、具体的な取組はどのように描いているのか。</p> <p>⑥ 地域内の農林業を考えるきっかけとなるような、バイオマスエネルギーの取組も取り入れてはどうか。</p> <p>(3) 整備方針2には、豊かな農業を活用し、「農」と「食」をつなぐ拠点づくり、とある。誰にとっても食は欠かせぬものであり、生産者、消費者共に地域を見つめるきっかけにもなる。地場の食材を生かして6次産業化に取り組む新規事業者への支援につながるようなトライアルショップも入れて、次世代を育ててほしいと願うが、いかがか。</p> <p>(4) 整備方針3には、市内外からの人々が集い、人と地域を「結ぶ」賑わいと交流の拠点づくり、とある。</p> <p>① どのようなイベント開催を想定しているのか。</p> <p>② 岩沼の豊かな自然環境を生かした野外活動にも、施設を存分に生かしていくべきと考える。例えば、グリーンピア岩沼から金蛇水神社への散策ルートをハナトピア岩沼まで結び、休憩や食事などにも利用していただくことなどで利用者増にもつながると考えるがどうか。</p> <p>(5) 運営について 今後の検討に向けた取組として、民間活力の導入については必要なことと考える。</p> <p>① 市の考えを反映しやすく、民間事業者のノウハウを活用するやり方が適していると思われる。市長の考えはいかがか。</p> <p>② 地域ネットワークの強化を掲げているが、「NPO」「地域住民」等に具体的な団体、組織はあるのか。</p>	市長 教育長
-----	---	-------	---	-----------